

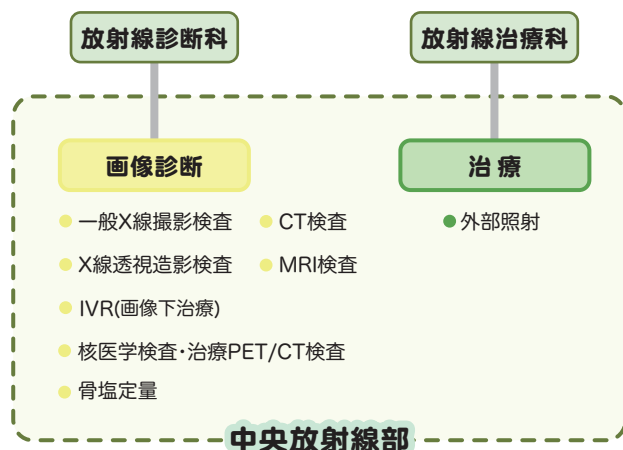
# 中央放射線部

Central Division of Radiology



## 概要

中央放射線部は、画像診断、治療の2部門で構成され、以下の業務を担当しています。



### 画像診断

体の外から診るだけでは分からない体内の様子や病気を画像にして、異常がないかどうかを診断します。

### 治療

体の外から腫瘍組織に狙いを定めて多方向から放射線を照射してがんの治療を行っています。

## 特徴・特色

中央放射線部は高度できめ細やかな画像検査や放射線治療を行うため専門資格を有した診療放射線技師が多数在籍し、放射線科と密接な連携の下に質の高い診療・治療を行っています。

すべての**X線撮影**は、より低い被ばく線量で高画質を実現するため総力を挙げて取り組んでいます。**CT検査**は4台体制で緊急性の高い検査や救急領域での迅速な対応を行っています。**血管造影(IVR)**は血管造影装置4台とハイブリッド手術室(手術台と心・血管X線撮影装置を組み合わせた手術室)により、高度な医療技術に対応しています。

**MRI検査**は、3T装置3台と1.5T装置1台で最先端な画像診断の一翼を担っています。全身領域に対して迅速かつ有用な画像情報を提供しています。**核医学検査**は、1台のPET/CT装置と2台のSPECT装置で全身の機能・代謝をみる画像検査を行っています。

**放射線治療**は、ラディザクトとトゥルービームという2台の特長ある装置を用い、強度変調放射線治療や定位照射などの高精度かつ多様な治療を患者さん一人ひとりに提供するとともに、安心して治療を受けていただける環境づくりにも力を入れています。



3T MRI 装置



放射線治療装置トゥルービーム



あつくんから  
ひとこと

放射線に関連する画像診断、治療の2部門で構成された中央組織です。部長(医師)1名と技師長、多数の診療放射線技師から構成されています。夜間・休日の救急患者の画像診断にも対応し、当院の日勤・救急の24時間体制を支えている重要な部門です。

中央放射線部